

問い合わせ先：
海上保安庁交通部整備課
課長補佐 横路 綱生
(代表) 3591-6361 (内線6701)
(夜間) 3591-7913

平成20年11月14日
海上保安庁

航路標識における新発光方式の国際標準化に向けた 専門家会議の開催について

海洋政策研究財団の平成20年度海外交流基金により下記の会議を開催します。

1 概要

航海計器が発達・普及した今日の海上交通環境下にあっても、港湾や狭水道等の航路を航行する船舶においては、直接目視できる視覚標識の役割は依然重要な要素を占め、より誘目性・識別性を高めた機能が求められています。

一方、海上標識に欠かせないLEDなどの光源や太陽電池などの電源技術の進展は著しく、今後の海上標識において新たなサービスを提供できる可能性を秘めています。

本会議では、デンマーク、フランス、アメリカ及び日本の専門家により、新たな発光方式を利用したLEDフリッカ灯火(チラツキを伴う灯火を用いることにより目立ちやすくなる効果を活用)等について、実効光度の計算方式を含めた国際標準化に向けた提案を検討するために意見交換を行います。

会議の結果は国際航路標識協会(IALA)に報告することとしています。

2 日程等

月 日	内 容	場 所 等
11月25日(火)	表敬訪問	交通部長
	公開シンポジウム (詳細別紙のとおり)	財務省三田共用会議所
11月26日(水)	会 議	財務省三田共用会議所
11月27日(木)	テクニカルツアー	海上保安試験研究センター
11月28日(金)	会 議	財務省三田共用会議所

3 参加予定機関・氏名

デンマーク海上安全庁	Mr. Omar Frits Eriksson	航路標識部長
フランス灯台局	Mr. Xavier Kergadallan	光波標識課長
アメリカ沿岸警備隊	Mr. Larry Jaeger	航路標識技術課員
アメリカ国立技術標準研究所	Dr. Yoshi Ohno	光学センサー課長
産業技術総合研究所	佐川 賢 博士	上席研究員

25日(火)の公開シンポジウム及び26日(水)の会議については、取材(会議は頭撮りのみ)が可能です。

取材を希望される方は、上記「問い合わせ先」までご連絡下さい。

航路標識における 新発光方式の国際標準化に向けた専門家会議 (公開シンポジウム)

開催日：平成20年11月25日（火曜日）

時間：13:30～17:30（受付13:00～）

場所：財務省 三田共用会議所

後援：海洋政策研究財団

その他：参加無料、逐次通訳

※平成20年11月21日(金)までに参加の登録をお願いいたします。

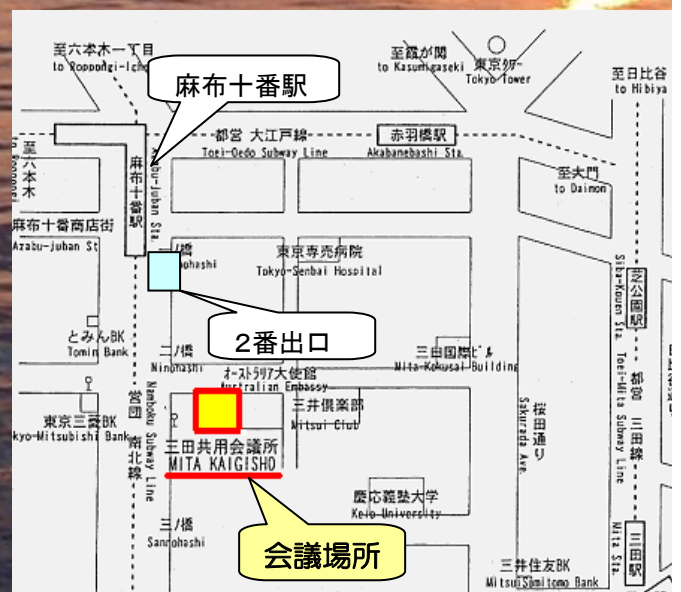
航海計器が発達・普及した今日の海上交通環境下にあっても、港湾や狭水道等の航路を航行するにあたって、直接目視できる視覚標識の役割は依然重要な要素を占め、より誘目性・識別性を高めた機能が求められています。

一方、海上標識に欠かせないLEDなどの光源や太陽電池などの電源技術の進展は著しく、今後の海上標識において新たなサービスを提供できる可能性を秘めています。

本会議は、海洋政策研究財団の支援を得て実施するもので、日本、デンマーク、フランス、アメリカの専門家により、各国が抱える問題点及びその対応と成果、導入あるいは開発中の新技術について発表を行い、新発光方式の国際標準化に向けたシンポジウムを開催いたします。

【各国の専門家によるプレゼンテーション】

- ・ Mr. Larry JAEGER (アメリカ)
「実効光度、見かけの光度及び誘目性について」
- ・ Mr. Yoshi OHNO (アメリカ)
「修正アード式と国際照明委員会第2部会技術委員会49について」
- ・ Mr. Omar Frits ERIKSSON (デンマーク)
「海上標識におけるちらつきの利用について」
- ・ Mr. Xavier KERGADALLAN (フランス)
「ちらつきのある灯火の観測距離の影響について」
- ・ 福住克保（海上保安試験研究センター専門官）
「LED灯火の新発光方式について」



お申し込み・問い合わせ先

海上保安庁交通部整備課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 03-3591-6361(内線6730)/FAX 03-3591-5468/E-mail seibi-x8ia@kaiho.mlit.go.jp